



# グループワーク型がん防災研修: 2020-21年開催結果①

形式: グループワーク研修(ミニ講座+対話ロールプレイ)

タイトル: **がんを学び、社員間の対話を学ぶ**

開催実績: 2回

参加者: 計約260名

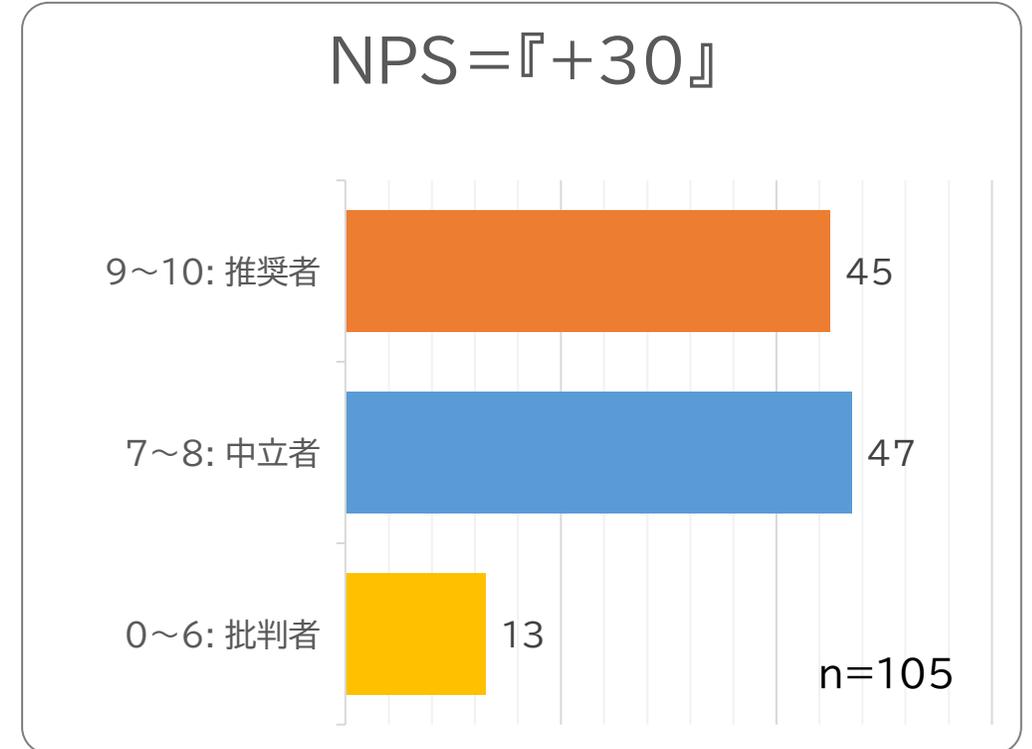
開催場所: 民間企業(関東)

対象者: 従業員・関係者

時間: 90分~120分

方式: オンライン

教材: がん防災マニュアル



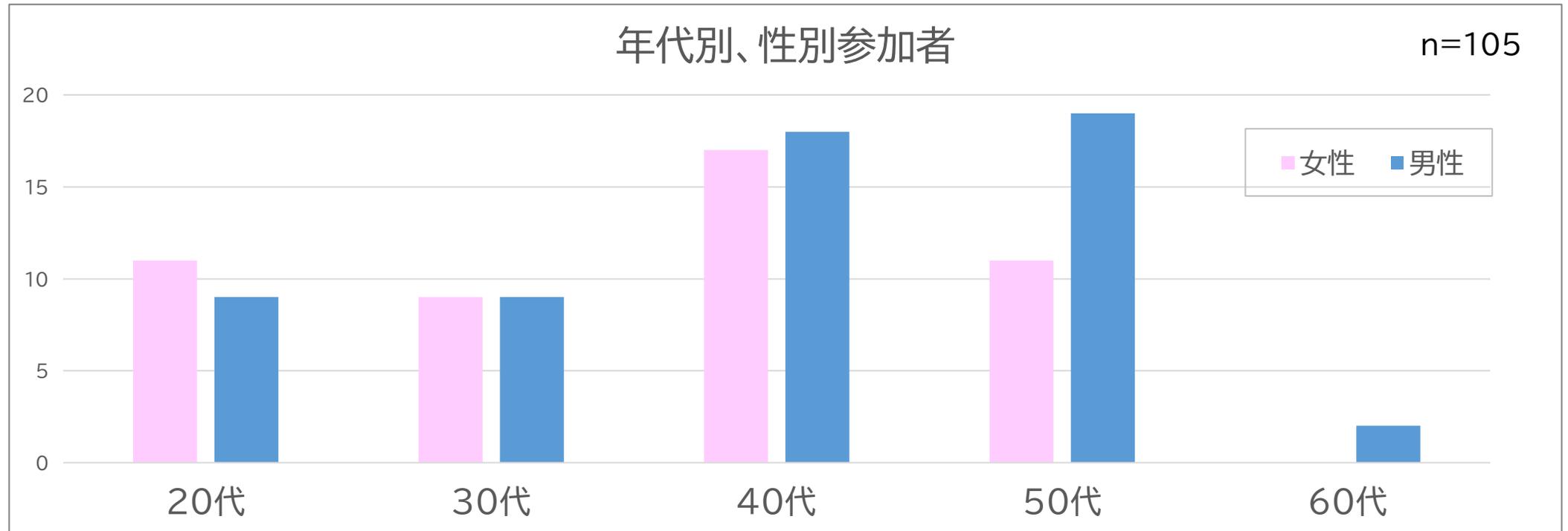
アンケートのコメントより、セミナー満足度につながるものとして

『がん経験者の話が聞ける事』『対話のポイントが学べた』

『他の従業員の考え方や対話方法を見る事ができた』があげられました



# グループワーク型がん防災研修：2020-21年開催結果②



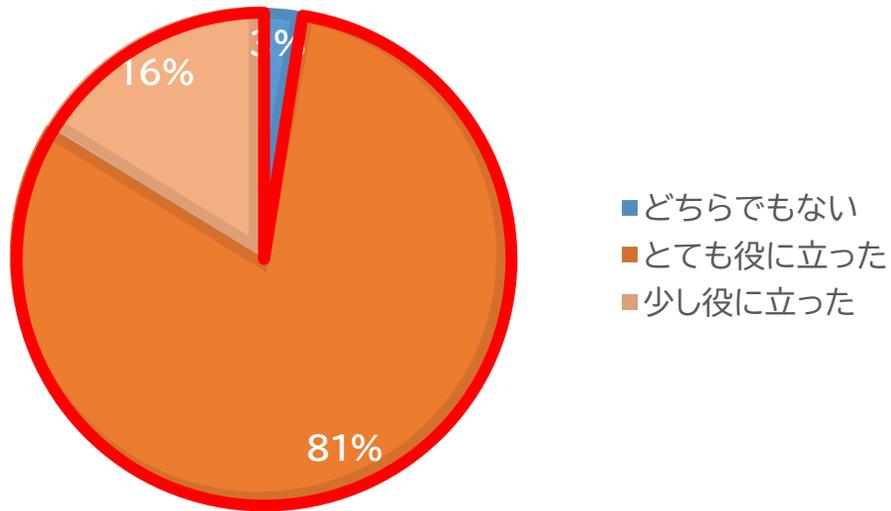
20代～60代までの幅広い年齢層の働く現役世代に研修を実施  
講話からグループワークまでを一貫してオンラインシステムを利用  
事前に教材を配布するなど事前準備を行い開催  
参加者は送られてきたURLにアクセスするだけで参加が可能。入室トラブルでの不参加者は0人 でした

※ 事務局対応レコードより算出

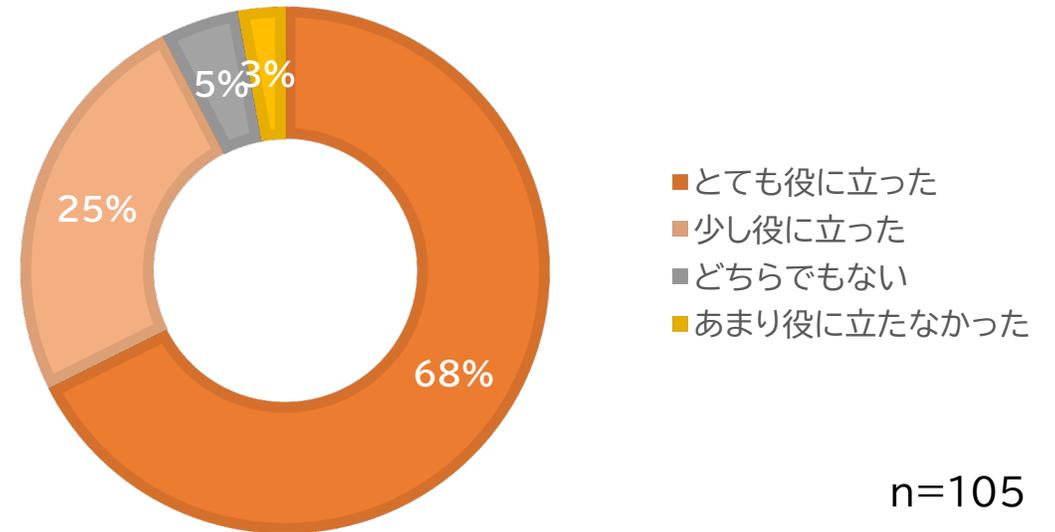


# グループワーク型がん防災研修: 2020-21年開催結果③

『97%』の方がミニ講座が役立った  
とご回答いただきました



『92%』が対話ロールプレイが役立ったと  
ご回答いただきました



n=105

がん経験者とがん専門医が共に作成した  
『現役世代の為のがん防災マニュアル』を  
テキストに利用したミニ講座を実施

内容:がんの基礎知識編  
いざという時編

がんに関わる対話をロールプレイ形式で  
体験&グループディスカッションを実施  
ファシリテーターとしてがん経験者が参加

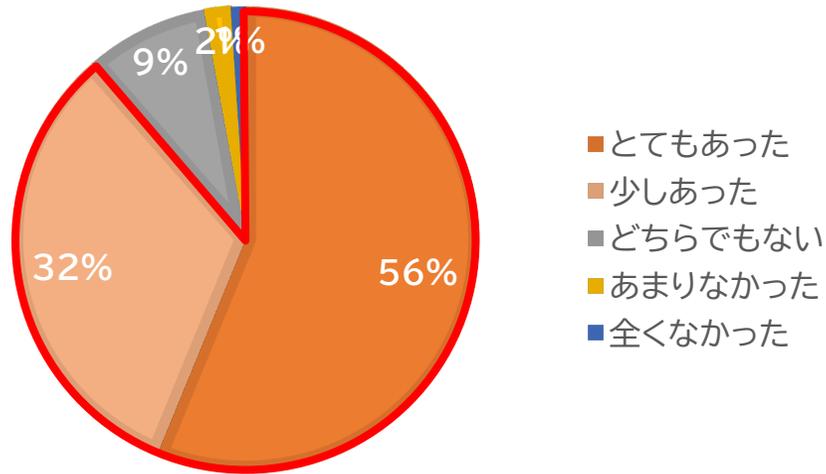
内容:もし同僚ががんになったら  
ロールプレイ+グループディスカッション



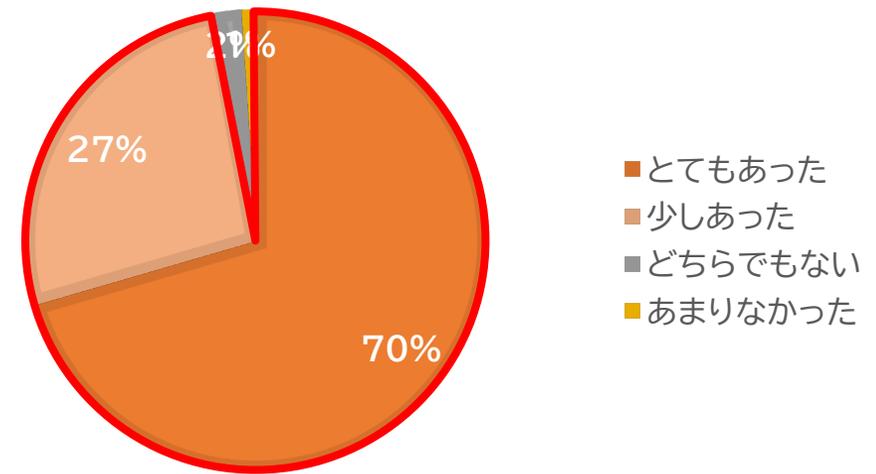
# グループワーク型がん防災研修：2020-21年開催結果④

n=105

業務に役立つ学びがあった方は『88%』



『97%』の方が生活に役立つ学びがあったとご回答



がんという誰もが直面する可能性のあるライフイベントをテーマに『組織内での対話』を学ぶ事で多くの方が『自分ごととして』ライフイベントと仕事の両立を捉え研修に参加いただけました。

参加者の感想

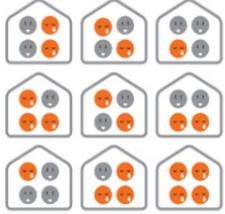
- ・身近なものとして、どう接していたらいいか、また、罹患した場合の心構えなど、学ぶことがおおかった（40代 男性）
- ・困っている身近な人に対してどう自分が関われるのか？ということを見つめ直すいい時間でした。（30代 女性）
- ・多様性のある職場を実現するために必要な知識だと思いました。（50代 男性）



# グループワーク型がん防災研修について

「がん」は誰にでも突然やってくる災害のようなもの!  
現役世代のための  
**がん防災**  
オンライン研修

2人に1人が、がんになる時代。  
4人家族で表すと…



当日利用テキスト

がんとはたらく応援団作成  
『がん防災マニュアル』

ポイント:  
がん専門家とがん経験者が作成  
「がん」治療・制度・対応法等  
から生活を守るための必要最低限  
の情報がこの一冊にまとめられています。

4人とも「がん」にならない  
家族の確率は?  
計算してみよう

「がんの対策・治療・両立をわかりやすく解説!」  
がん予防、情報の見極め方、そしていざがんになった時の対応法など、  
がんの正しい知識を経験者が分かりやすく伝えます。

研修内容 (90分)  
聞いて学ぶ、実践して理解を深める

- ① 講義 (30分)
  - がんの基礎知識編
  - いざという時編
- ② ロールプレイ+ディスカッション
  - がんにつながるケースを使い対話を理解する



講師: 野北 まどか  
(のきた まどか)

一般社団法人  
がんと働く応援団 理事長  
株式会社エス・ピー・シー  
代表取締役 副社長  
一般社団法人 生活学習開発協会  
副代表

アシスタント: 吉田ゆり  
(よしだ ゆり)  
相談員 がんセンター  
研修員 がんセンター  
研修員 がんセンター

実際、がんを経験したファシリテーターと  
支援を行うキャリアカウンセラーが皆様の  
ロールプレイをファシリテートします  
この機会にご自身のがんにつながる知識をアッ  
プデートしてください。

## 本社員研修の目的

- ❖ 正しくがんを理解し、がんショックから生活を守る
- ❖ 「がんになった方」との対話を学ぶ

がんを自分ごととして考えられるようになる

## 経験者を支えた周りのアクション

### 職場の対応

復帰後の対応を  
役員と上司が相談して  
くれていたことを知り感謝

休職中に上長から時々  
メールが来ていた。  
気にしてくれている事が  
嬉しかった

### 同僚の理解

「お互い様よ」と  
言ってくれた同僚の  
対応に救われた

「がんの事わから  
ないから教えてね。  
一緒に考えていこう」  
不安な気持ちが和らいだ

### 両立支援

急な体調不良にも使える  
よう休みの申請方法  
を簡素化

上司が定期面談を  
自動設定した。  
治療状況の進捗報告、  
仕事の相談等負担なく  
できた

↑ オンラインセミナー風景

全国8万冊以上を配布している  
『現役世代の為のがん防災マニュアル』を元に  
わかりやすく体験談も交え、お伝えするセミナー  
知識を学んだ後はロールプレイで実践+意見交換。  
両立できる組織を社員と共に育む内容

内容: がんの基礎知識編 & いざという時編  
がんの対話を学ぶグループワーク  
講師: GHO正会員 経験者講師 等

20人~100人のオンライン研修  
対応可能



グループワークは  
少人数に分かれて行います



家族と共に情報の再確認が  
大切。一家に一冊がん防災マ  
ニュアルを目指します



# グループワーク型がん防災研修：2020-21年参加者感想

## 【20代】

- ・健康に自信のあった講師の方だからこそ、自分と重ねて考える事が出来ました。自分は病気にならないとどこかで病気を他人事のように思っていたが、がんになり患する人の多さや仕事と治療の両立や備えについて考える事が出来ました。(女性)
- ・ネットで検索等をして余計な事をしてしまいそうだったが今回の研修で、話を聞く事が一番だと思った(男性)
- ・生活習慣に気を付けたり、定期的な検診を受けたり、あとで後悔することがないようにしっかり再検査や医療機関に掛かることが大切だなと感じた。(男性)

## 【30代】

- ・実際に罹患された方の経験談やその際の心理状態などを講義いただき、どういった対応や声かけが力になるのかイラストを交えての講義がわかりやすかった。(女性)
- ・ロールプレイングによりガン患者の立場、がん患者の周辺の人間の対応等大変勉強になったため。(女性)
- ・講師の方々の大変わかりやすい説明で**ガンについての知識を深めることができました**。2人に1人が罹患する病気のため自身がガンに罹患する可能性も、友人や家族がガンに罹患する可能性も両方あるものと思われます。その際に大変役立つセミナーであったと思います。(男性)

## 【40代】

- ・働き世代でもガンに罹るリスクはあるにも関わらず、ガンと向き合う機会があまりなかったので、自分や周りに方がガンになってしまった場合の想像をするいい機会になった (男性)
- ・**本人の気持ち、話しを聞く側の気持ちを両方知る事ができ**とても実践的だった(男性)
- ・今回のような業務のみならず日常生活で約に立つセミナーは、社員のスキルアップ、プライベートの充実に大変有効だと思います。(女性)

## 【50代】

- ・がんが他人事ではなく自分や周囲の人にとって現実になる可能性が高いことを認識することや、**がんに限らずトラブルに自分になったとき、周囲の人がなったときにどのように対応すべきかを考える貴重な機会になった**。(男性)
- ・自分の周りにいないため、他人事の意識が抜けない。けど、日本人の死因1位なら、これ位の知識は成人全員が持つておくべきと思った(女性)
- ・相手を思いやる気持ちの大切さをすごく感じた。また相手の性格によって対応を変えなくてはならない難しさを感じた。(女性)

学校でのがん教育は文部科学省により始められています。り患リスクの高い現役世代も知識のアップデート、両立できる環境作りに着手する事が社会の流れからも求められています。

参照:厚生労働省がん対策推進基本計画

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000183313.html>



現役世代のためのがん教育:グループワーク型

がん防災研修～がんを学び、社員間の対話を学ぶ～

お問い合わせ先

一般社団法人がんと働く応援団  
神奈川県厚木市中町4-14-1-6F

080-4198-3168  
[info@gh-ouendan.com](mailto:info@gh-ouendan.com)



一般社団法人

**がんと働く応援団**